



退魔師イリーナ.1
～催淫脅迫編～



退魔師イリーナ.1
～催淫脅迫編～



確かこの辺りだったわね…

退魔師協会からの要請で妖魔の出現が確認された場所に
イリーナ・スノウが到着した。



戦いの中で漂っていた異臭は催淫ガスであり
日々の妖魔退治でイリーナの体内に
少しずつ催淫効果が蓄積していった

なんだか
イケナイことしてる気分ね…

しばらく触手を踏みつけて
いるとイリーナの身体は
火照ってくる

グニャ

グニャ



いやらしい妄想を膨らませていた
イリーナはだんだんと気分が
高揚していき胸をさらけ出す



フフフッ
すっごいぬるぬるしてきたね...

汚いから
今からキレイにしてあげるね...

妄想が続き正気を失った
イリーナはパンツをずらしていき...

ズル

んん



触手に対し放尿する
普段の排尿では感じられない
快感に身を震わせるイリーナ





あたし...何で
こんな.....

あ.....なり....
なに.....んだ.....

ト
ワ
...

触手が射精した衝撃で
イリーナは正気を取り戻す

じゅわ
じゅわ
じゅわ



驚きで身を固まらせていた
イリーナは先ほどの痴態を思い出し
顔をゆがませる



うわーっ

うわーっ

恥ずかしさで我を忘れたイリーナは
とっさに足を振り上げる

イリーナの足は勢いよく
振り下ろされ踏みつけられた
触手の肉片が辺りに飛び散る



グ

シ
ャ
ア
ッ

ぐちゃぐちゃ





ふふっ♪
出たわね、汚らしい妖魔ども…

闇の中からニルニルと蠢きながら触手がイリーナに向かって伸びてきた。



うっ...
なって格好...

誰かに見られる前に
急いで帰らないと...

もっ...最悪...
身体中へへへへ...

イリーナは身体を火照らせたまま
慌てて家に帰ってゆく





ハァー！

アソコの疼きが止まらない！.....

あがつてからしようと思ってたけどもう我慢できない！.....

慌てて帰宅したイリーナはシャワーを浴び、液体を洗い流したが性欲が異常に高まっていた





勃起したクリトリスにシャワーの刺激が与えられ続け
次第何も考えられなくなっていく

やばい……..
気持ち良すぎて
変な声が出ちゃった……っ

おー！

お

ん



何も考えられないっ...

あ

あ

ア

は

来たっ.....

イ...クッ

イクイクイクイク





なんとかシャワーを止めたイリーナの性欲は一応の治まり見せる

一度は性欲が治まったものの少し時間がたてば再び性欲が湧き上がってくる。

イリーナがいくら眠りにつこうとしてもムラムラしてしまい自慰を始めてしまう







さあ、このイリーナ様に
楯突いたことを後悔なさい！

イリーナは嗜虐的な笑みを浮かべ霊力を練り上げる。









あなたの痴態って……

な...なにこれ...
今どきメールなんて...

あなたの痴態、撮影しました
From: 妖魔軍
to: イリーナ・スノウ
この動画を拡散されたくなければ
今日の19時に××までください。
↓
xxxxxxx.mp4

送られてきた動画に不穏な気配を感じながらも
自分の名前が書かれていることが気になり動画を開く

ん……
ん……

そこには先程の自分がしでかした痴態が鮮明に撮影されており
あまりのことに気の抜けた声が出てしまう



今までの戦いは罠であり、いずれイリーナが催淫ガスが蓄積し抵抗できず痴態を晒すまですと監視されていた

あ……そんな……
何で……

誰もいなかったはず……

動画を見たイリーナは、ついさっきまでの性欲は失せ身体中の血の気が引いていくのを感じていた





こうして弱みを握られたイリーナは
指定された場所へ赴くことになる

自分はどんな目に合うのかと想像し身を震わせながら



ほーら！
食らえ雑魚ども！

びびっ！

イリーナの手から霊力の塊が飛び出し周りの触手を殲滅していく。

イリーナの攻撃により触手が千切れ飛び辺りに異臭が充滿する。

うむ……へっ……

相変わらず酷い臭いね……

こんな雑魚処理なんて
下っ端にやらせなさいよね……





うわ...
まだ残ってたの

なにこれ?
完全にチ○コじゃん

キモい
うしろ...

ぐ
どっ





もしかして
ほんとに感じてたりして...

うわ...
なんかヌルヌル出てきた...

トロ
ヌル...

